

あなたと議会の情報ネットワーク

あおぞら21



令和元年度決算 町のお金はどう使われた(9月会議) … 2
少子・高齢化による自主財源の確保対策は(一般質問) … 17

表紙：稲刈りをする子どもたち(御船小・10月23日)

9月定例会

令和2年10月30日

No.157

熊本・みふね町議会

町のお金はどう使われた

9月会議を9月10日から18日まで開催した。報告3件、令和元年度決算認定8件、条例の改正1件、契約関係3件、補正予算8件、陳情1件、発議1件の議案25件を審議採決した。

令和元年度決算、一般会計は歳入14,916,784,033円、歳出14,268,203,547円。

9月議会で決まったこと

議案号数	簡易議案名	概要	質疑・討論の有無	採決結果
報告11	財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告	有	報告
報告12	専決処分の報告について	町道八竜線①、町道小坂八竜1号線① 道路改良工事 工事請負契約の変更	有	報告
報告13	専決処分の報告について	町道小坂八竜下高野線 道路改良工事 工事請負契約の変更	有	報告
認定1	令和元年度御船町一般会計歳入歳出決算について	歳入合計 14,916,784,033円 歳出合計 14,268,203,547円	有	全会一致で認定
認定2	令和元年度御船町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について	歳入合計 2,507,900,067円 歳出合計 2,292,909,399円	有	全会一致で認定
認定3	令和元年度御船町介護保険事業特別会計歳入歳出決算について	歳入合計 2,072,621,037円 歳出合計 1,944,968,534円	有	全会一致で認定
認定4	令和元年度御船町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算について	歳入合計 234,328,475円 歳出合計 221,703,801円	無	全会一致で認定
認定5	令和元年度御船町緑の村運営事業特別会計歳入歳出決算について	歳入合計 29,382,113円 歳出合計 27,246,192円	有	全会一致で認定
認定6	令和元年度御船町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算について	歳入合計 548,978,747円 歳出合計 528,281,418円	無	全会一致で認定
認定7	令和元年度御船町情報通信基盤施設運営事業特別会計歳入歳出決算について	歳入合計 89,108,728円 歳出合計 86,764,804円	有	全会一致で認定
認定8	令和元年度御船町水道事業会計歳入歳出決算について	(収益的収入及び支出) 収入合計 321,591,407円 支出合計 298,024,110円 (資本的収入及び支出) 収入合計 43,979,000円 支出合計 204,123,697円	有	全会一致で認定
議案29	御船町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	子ども・子育て支援法の一部改正に伴う条例改正	無	全会一致で可決

議案 30	工事請負変更契約の締結について	町道小坂八竜1号線②道路改良工事（その2） 工事請負契約の変更	有	全会一致で 可決
議案 31	工事請負契約の締結について	町道落合浄光寺線 四宮橋上部工工事	有	全会一致で 可決
議案 32	工事請負契約の締結について	インター団地地区宅地耐震化推進滑動崩落対策施設工事	有	全会一致で 可決
議案 33	令和2年度御船町一般会計補正予算（第8号）について	補正額 歳入歳出 758,589千円 補正後予算総額 歳入歳出 12,257,177千円	有	全会一致で 可決
議案 34	令和2年度御船町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について	補正額 歳入歳出 181千円 補正後予算総額 歳入歳出 2,340,014千円	無	全会一致で 可決
議案 35	令和2年度御船町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）について	補正額 歳入歳出 161,969千円 補正後予算総額 歳入歳出 2,228,643千円	有	全会一致で 可決
議案 36	令和2年度御船町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）について	補正額 歳入歳出 3,616千円 補正後予算総額 歳入歳出 241,823千円	有	全会一致で 可決
議案 37	令和2年度御船町緑の村運営事業特別会計補正予算（第1号）について	補正額 歳入歳出 39千円 補正後予算総額 歳入歳出 29,902千円	無	全会一致で 可決
議案 38	令和2年度御船町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）について	補正額 歳入歳出 10,389千円 補正後予算総額 歳入歳出 512,316千円	有	全会一致で 可決
議案 39	令和2年度御船町情報通信基盤施設運営事業特別会計補正予算（第2号）について	補正額 歳入歳出 2,447千円 補正後予算総額 歳入歳出 85,504千円	有	全会一致で 可決
議案 40	令和2年度御船町水道事業会計補正予算（第1号）について	収益的収入及び支出 補正額 支出 7,034千円 補正後予算額 支出 306,121千円	無	全会一致で 可決
陳情 4	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書提出の要請	無	全会一致で 採択
発議 2	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	無	全会一致で 可決

報告第12号 専決処分の報告について

田上忍議員 道路の高さが当初の設計より上がったのか。設計のミスか。

野口建設課長 設計の段階で万全ではなかった。

田上忍議員 担当課のチェック機能が働いていなかったということか。

野口課長 現地等の調査が、十分ではなかった。

藤川議員 梅雨時の浸水により地盤からの湧き水が多くそのためセメントを拡散して地盤を固めたということか。完成した後、この湧き水で地盤が柔らかくなり沈下する恐れはないのか。

野口課長 道路部分の地盤の入れ替えが梅雨前にもある程度できていた。そこが冠水していつまでも水が抜けなかったというのも1つの要因だ。

藤川議員 湧き水はやっかいである。排水しないでいいのか。強度は大丈夫か。

野口課長 一番心配しているところである。そのために、今回安定処理工を実施した。

認定第1号 令和元年度御船町一般会計歳入歳出決算について

歳入

福本議員 町税は前年に比べ約3,289万円増えた要因は何か。

畑野税務課長 熊本地震後4年目で、災害による控除が減ってきたため町民税が増加した。また地震後新築住宅も増え固定資産税も増加したためと考えられる。

福永議員 軽自動車税は、全額町の収入になるのか。

畑野課長 全額町の収入となる。

福永議員 森林譲与税は実際何に使われたのか。

井上農業振興課長 初年度なので山林の境界立ち会い時の賃金や現場用の消耗品、保険料、システム委託料などである。

福永議員 地方消費税が減っているが理由は。

坂本企画財政課長 令和元年度の10月1日から消費税が8%から10%に引き上げられ

た。そのため需要が落ち込んだことが一番大きな要因だ。

田上忍議員 小地域ネットワーク事業補助金は何に使えるのか。

西橋福祉課長 社会福祉協議会が実施されている事業で、各区で開催されている地域サロンや見守りネットワーク事業など。

福永議員 プレミアム商品券の対象者は何人で、どのくらい利用したか。

鶴野商工観光課長 非課税世帯及び対象期間内に子どもが生まれた子育て世帯に限定したものの。非課税世帯の対象者数が3,828人、子育て世帯の対象者数が480人、合計の4,308人が対象者数。利用率は34.4%。

藤川議員 収入未済額1億5,900万円の内訳は。

坂本課長 前町長に対する損害賠償約9,279万円。事業会社の前社長に対する損害賠償約1,463万円である。

歳出

総務費

前年度より大幅アップのふるさと納税

中城議員 ふるさと納税は、6億6,800万円集まった。返礼品代を含む経費、送料を差し引いた実質収入はいくらか。

坂本課長 寄附額6億6,800万円に対し、経費が合計で2億9,430万円になる。差し引き町の実質収入は3億7,400万円になる。

中城議員 ふるさと納税が増えた要因は何か。

坂本課長 寄附額1万円に対



建設が進むコストコホールセール熊本御船倉庫店

し返礼品として10キロの米を出した。御船町の森のくまさん、ヒノヒカリが、全国でもネームバリューがあり安心感につながっていると思われる。また、御船町は返礼品に新たに3カ月、6カ月、12カ月の定期便を取り込んだことが、多額の寄附額の増加につながった。

井藤議員 委託料で不用額が1,300万円ほど出ている。理由は何か。

坂本課長 主な要因は、楽天ふるさと納税、それとふるなび上での寄附が集まるように、人気返礼品に対し委託料の見直しを行ったことにより、不用額が発生したということになる。

福永議員 嘱託員報酬について、昨年、一昨年と減少していたが今回は若干増えている。理由は何か。

藤野課長 世帯数が増えたということだ。

元町長への損害賠償の回収方法は

福永議員 竹バイオマス住民訴訟に基づく、元町長への損害賠償の回収方法について説明を求める。

坂本課長 不動産等の差し押さえを含めた強制執行申し立てを視野に入れ、弁護士と相談を今進めている。法に沿った方法で粛々と進めていきたい。

田上忍議員 草刈りの委託料はどの地区の草刈りか。

藤野課長 町が管理している普通財産で、職員ではできない部分を委託した。場所は、旧高木保育園の法面、白岩工業団地の調整池の部分、玉虫団地の法面の所有地。

田上忍議員 地域おこし協力隊について、退任後は御船町に定住してくれるのか。

坂本課長 令和2年度中に退任される方が5名おられるが、ほとんどが御船町に定住し、新しい企業を立ち上げたり、地元の人に勤める意向と聞いている。

井藤議員 職員手当と共済費の不用額が1,000万円以上出ている。原因は何か。

藤野課長 職員手当の不用額は140万円だ。共済費は1,000万円以上だが、当初予算で非常勤職員の月の勤務時間を最大130時間で積算していた。実績平均すると120時間だった。また臨時職員を、20名で当初予算積算をしていたが13名であったことなどである。

田上英司議員 自衛隊の家族の会に対する補助金5万4,000円はどうゆうものか。

藤木町長 上益城、下益城、宇城、宇土が1つの地域で、宇城地区の家族会がある。その家族会に対する分担金である。

民生費

アニバーサリーチケット

宮川議員 アニバーサリーチケット事業の利用率が100%ではなかった原因は何か。

田中こども未来課長 利用を忘れていたと考えられる。今後は窓口で使用期限のアナウンスを詳細に行う。

福永議員 夫婦とも町外等、御船にゆかりがない方に対する配布は何枚か。

田中課長 7件の婚姻届の提出があり7冊。

福永議員 PR不足ではないか。何か積極的な取り組み等を考えていないのか。

田中課長 広報、ホームページでPRしている。まずは婚活だ。関係課と連携をとってPRをしていく。

公民館・分館の改修

田上忍議員 秋只公民館と上野分館と御船分館改修の原資は何か。

西橋福祉課長 地域医療介護総合確保基金で、100%県



御船町独自のアニバーサリーチケット事業

からの補助金だ。設計に係る費用は町の予算だ。公民館分館は町の財産なので町が直接工事請負費で工事をする。地区の集会所や公民館は、地域に補助金を支給し地域の中での工事となる。

シルバー人材センター補助金

田上忍議員 シルバー人材センターへの補助金136万円の使用用途は何か。

西橋課長 登録会員の雇用の促進事業や人件費、シルバー人材センターの事務局の人件費の一部である。町の補助があって運営が成り立っているのが必要な予算だ。

コンテナハウスの利活用

田上忍議員 熊本地震災害に伴うコンテナハウスの今後の利活用はどうか。

島田復興課長 庁内で協議中だ。当面は現在の位置に置き利活用が決まり次第移動する。

病児・病後児保育の利用者数

田上忍議員 病児・病後児保育事業で嘉島町と甲佐町からの利用が減少している理由は何か。

田中課長 嘉島町は熊本市に近い関係もあり減少している。甲佐町は把握していない。町の負担金は前年の利用率も関係するので毎年御船町の負担が一番大きい。

学童保育の補助金

田上忍議員 滝尾の学童保育の人数は11人だが補助金は十分か。

田中課長 基準額は各学童の前年の実績額で上がっている。補助金には基準額と加算費が

あってどの学童にも十分な補助金が委託費として渡っている。

老人ホーム入所処置費

田上英司議員 老人ホーム入所措置費は誰に支払われるのか。

西橋課長 各施設に支払っている。

地域子育て支援拠点事業の利用者数

井藤議員 地域子育て支援拠点事業の利用者数が年々減少している理由は何か。

田中課長 女性の就業率が伸びているため、利用が減った。

巡回支援専門員整備事業

井藤議員 巡回支援専門員整備事業の委託料の説明を。

西橋課長 NPO御船でこぼこ会（上益城地域医療センター）に委託している事業だ。障がい児の地域生活を支えるための療育指導と相談を一体的に実施するもので保育所等の施設への巡回支援を実施し、発達やかかわりが気になる段階から早期に支援を行うものだ。

井藤議員 派遣する頻度は。

西橋課長 学校や保育園等から要請があった場合に巡回訪問し、障がいの早期発見、対応のため職員や保護者に対する助言等が行われる。小学校就学前には、各保育園・子ども園に年に2回巡回訪問している。

延長保育

福永議員 延長保育だが町内で日曜・祝日・夜間はどうか。

田中課長 行っていない。ニーズもない。昼間の保育士も私立が2園、公立1園、保育士不足で今困っている。夜間実施となれば保育士が必要となり厳しい。ニーズ次第で今後考えていく。

衛生費

不法投棄防止事業

福本議員 不法投棄防止事業対策実績2万8,000円とは。

緒方環境保全課長 家電以外の粗大ごみ、可燃ごみの処分料だ。前年から8件増え今回は



不法投棄があった（御船校区の山林）

23件だ。今回はごみステーションで捨ててあったものも件数に入れている。パトロールの回数は増やしているが件数は減少していない。

福永議員 大型ごみ、粗大ごみは無償回収だが熊本市内は有償だ。そのため御船町の回収日に合わせて、たんすなど置かれているようだと聞いたが事実は把握しているか。

緒方課長 把握していない。粗大ごみに関わらず、町外からの持ち込みは禁止だ。

田上忍議員 どんなものが捨てられていたのか。

緒方課長 家電製品、家財道具、タイヤ、可燃ごみ等だ。対策としてパトロールと広報による啓発活動、それと看板の設置を行っている。

田上議員 看板だが地域から言われる前に町として積極的な設置は行わないのか。

緒方課長 町から設置することはやっていない。地元から要望があったところに設置をしている。

風しん抗体検査事業

宮川議員 緊急風しん抗体検査事業は約20%の受診率だが呼びかけはやっているのか。

作田健康づくり支援課長 この事業は令和元年度から始まった事業で周知が遅かったのも原因だ。令和3年まで続けられるので周知を続けていく。

田上忍議員 この検査は町として絶対受けて欲しいのか。

作田課長 妊婦に発症した場合、影響が多大なのでぜひ受けてほしい。令和3年度は昭和37年4月2日から昭和42年4月1日生まれの方にクーポン券を配布する計画だ。



観光交流センターで販売されているデトレタ

可燃ごみの最終処分は

田上忍議員 一般ごみ収集量の推移はどうなっているか。

緒方課長 今年度の可燃ごみ2,879トン、資源ごみが3,180トン、粗大ごみが186トンでおおよそ横ばいだ。

田上忍議員 焼却場で燃やしたあと産業廃棄物となった灰はどこで処分しているのか。

藤木町長 御船甲佐衛生施設組合で焼却後、一部は、北九州へセメント材料として渡し、他は九州外の最終処分場に持っていっている。

地域連携保全活動協議会

井藤議員 地域連携保全活動協議会事業の進捗状況説明を。

緒方課長 吉無田高原を中心とした田代地区の自然環境を保全するための事業だ。地域連携保全活動計画は令和2年に策定しており公表に向けた準備を行っている。

具体的にはブルーベリーやソバの栽培、自然資源を生かしたフットパス等、観光交流等自然環境の保全に向けた環境教

育、学習イベント等に取り組んでいく。

農林水産業費

御船町のアイス「DETLETA（デトレタ）」

田上忍議員 PR状況の説明を。

井上課長 若手農業者が御船町農産物産品開発協議会を設立して、昨年の4月下旬から販売を始めた。熊日のすばいす7月号、タウン情報クマモト12月27日号に掲載している。各イベント等で活動を行う予定だったがコロナの影響でできていない。

田上忍議員 ふるさと納税の返礼品には使えないのか。

井上課長 視野に入れたところで考えている。

有害鳥獣対策

田上忍議員 有害鳥獣対策の実績でイノシシは目標400頭に対し400頭となっているが実数はどうか。

井上課長 駆除隊3隊あり例年あわせて300頭前後だった

が令和元年度は400頭だった。
田上忍議員 補助の枠を広げて予算を増やせないのか。

井上課長 報奨金だが町の単費は、駆除隊から年に3回ほど実績の報告が上がる。11月下旬ぐらいに年度内の捕獲の推移を出して、補正予算で対応している。国庫補助はそれ以上の増額はできない。予算以上にとれた分に対しては翌年度の申請に上乘せして行っている。

井藤議員 有害鳥獣捕獲の計画頭数は誰が決めるのか。

井上課長 御船町鳥獣被害防止対策計画の中で400頭の計画を立てている。国庫補助は400頭で毎年申請を上げているが枠が足りないので300頭前後配分されている。例えば300頭分の枠があり350頭とれた場合には、50頭分は翌年度に上乘せして申請する。

井藤議員 御船町鳥獣被害防止対策計画は定期的に見直しはあるのか。

井上課長 見直しはある。昨年は国庫補助事業ワイヤーメッシュを対象とした。

井藤議員 頭数の見直しはないのか。

井上課長 駆除隊長、JA、農業共済、県、町で協議を進めていく。

井藤議員 個体数調整において、学識経験者も入れ全体で何頭いて、年間これだけとれば確実に減っていくという根拠のある数字を出してほしい。

井上課長 県とも連絡をとり行っていきたい。

甘木地区の揚水機更新

田上忍議員 甘木地区の揚水機更新の説明を。

井上課長 高速道路の側道、

甘木橋の下流にポンプ小屋がある。管理は御船中央土地改良区が行っているが、揚水ポンプの耐用年数も過ぎ、故障が発生しているのでポンプを1基、配電盤を1基、送水管を2基改修している。

中城議員 ポンプを活用しているのは嘉島町が多い。なぜ御船町が負担しているのか。

井上課長 管轄が御船中央土地改良区なので御船町で事業に着手した。

中城議員 嘉島町の負担はないのか。

井上課長 国が50%、県が14%、中央土地改良区が18%、御船町が18%で嘉島町の負担はない。

中城議員 それは誰が考えてもおかしい。交渉が必要だ。

井上課長 内部で調査して検討する。

甘木ポンプその後の進捗

御船町は受益者5名、面積は1.2ha。全体20haのうち、残りは全て嘉島町の地権者が利用している。今まで嘉島町の負担はない状態だったが、本議会後、嘉島町との協議を進めている。

放置竹林問題

福永議員 放置竹林問題に関する予算・決算が近年上がってきてないがなぜか。

井上課長 食べる竹・使う竹・見せる竹生産支援事業や、熊本県森林山林多面的機能発揮事業がある。

福永議員 御船町が主体となった、放置竹林対策事業を考えて欲しい。

井上課長 現在竹チップ等の機械を所有し活動している団体もある。活動している団体の支援も含めて、今後検討していく。

商工費

ブルック像の除幕式

田上英司議員 ONE PIECE（ワンピース）ブルック像の除幕式は予定どおり行われるのか。規模はどうなるのか。

鶴野課長 11月8日に行う。新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を踏まえて定員を200名に限定する。県内在住者で事前申込制となり抽選となる。

田上忍議員 ONE PIECEブルック像の監視カメラはどんなシステムか。

鶴野課長 ブルック像に一番近い街路灯に設置している。暗視機能、録画機能がありハードディスクに約2週間録画が可能。

観光協会への業務委託

井藤議員 委託料が総額で昨年より増額している理由は。

鶴野課長 交流センター及び街なかギャラリーの観光案内業務委託と観光ホームページの改修委託だ。

井藤議員 交流センターと街なかギャラリーを観光協会に委託されているがどう変化があったか。

鶴野課長 業務委託により人件費の経費削減が図られた。

田上忍議員 観光案内等受付業務委託とはどんな内容か。

鶴野課長 交流センターは恐竜博物館への来館者等に観光案内等を常時1人で行う。街な

かギャラリーには貸し館の受付やイベントの対応で常時1人で行う。土日やイベント等には人数の加配を行うので委託の中では4人を入れている。

観光協会の位置づけは

田上忍議員 観光協会の補助金は何に使われているのか。

鶴野課長 将来的な自立を含めて行政としては支援をしていく。自主財源の事業として化石発掘体験事業がある。また、交流センター内での特産品の販売、ふねまるポロシャツやウインドブレーカーなどのアパレル事業、また新酒まつり、恐竜フェスタ、吉無田高原星空観察会など自主イベントに加えて、東京銀座館また福岡ドーム等での催事に赴き、特産品の販売促進を図っている。

田上忍議員 町が観光協会に期待すること、町長が期待していることは何か。

鶴野課長 観光を進める上で、行政と一体となる両輪である。下請のような協会ではだめだ。自主性を重んじて活動がしやすい支援を行う。

藤木町長 観光協会は私の考えとしては公でも民でもできない、中間層という位置づけだ。御船町への滞在時間を延ばすために頑張ってもらいたい。

御船町の特産品(いさぎ)

福永議員 いさぎは今後どのようにしていくのか。

鶴野課長 23業者35品目を御船ブランドとして観光協会まや商工会と連携して認知度向上、また販売促進を行っている。まだ認定業者ごとの売り上げに直結する成果は上がっていない。当面は新規の認定を行わず、現在のラインナップを町民が誇れるような認知度向上を図っていく。

城山公園の活用

福永議員 城山公園は町の真ん中にあり観光振興にも使えるが管理や運用を考えていないのか。

鶴野課長 町民の憩いの場である公園や広場は、普段から適正に管理する必要がある。除草作業を年4~5回、また急斜面である法面の除草を年1

回行っている。甲斐宗運や歴史のファンを取り込むような施策というものをしっかり考えていく。

土木費

団地のイノシシ対策

田上忍議員 イノシシ対策委託料とは何か。

島田課長 町営住宅の辻、東禅寺団地にイノシシが出たと通報あった。シルバー人材センターに委託して周辺の草刈作業を行った。また敷地周囲をロープと支柱で囲い忌避剤としてイノシシが嫌う薬剤をつるして、進入防止対策をおこなった。

田上忍議員 薬剤の効果はあったのか。

島田課長 薬液の入った「しし防」を等間隔につるした。当初はイノシシの目撃情報は寄せられなかった。最近はイノシシが掘った跡がある。入居者にイノシシの餌になるものを外に置かない、ごみ置き場の清掃を行うなどの対応をお願いしている。

町営住宅の解体計画は

田上忍議員 町営住宅の解体計画はどうなっているか。

島田課長 二丁目と五丁目団地の合計4戸を解体した。解体で更地となった団地はない。住替えをお願いして来年度までに18戸の解体を予定している。来年度末には3団地の用途廃止ができる。

田上忍議員 更地となった土地の利活用はどうするのか。

島田課長 町全体での利活用や民間等へ売却も視野に入れて検討していく。

福永議員 用途廃止を予定し



雑草が生い茂っている城山公園



解体を待つ町営住宅

ている住宅は何戸か。

島田課長 築50年を経過した住宅は7団地34戸あり、そのうち6団地20戸に入居している。住替えの了承を得ているのは5戸で残る15戸も引き続き交渉していく。

橋の長寿命化計画

宮川議員 橋梁長寿命化計画の説明を。

野口課長 御船町内に118橋の橋がある。長寿命化計画として78橋を抽出して10年間の間に修繕を行う。事業費は10億8,000万円を予定している。

ふれあい広場の管理

福永議員 ふれあい広場の管理と今後の計画は。

野口課長 現在はトイレ等の清掃を週に2回、公園内の除草を年に4回と遊具点検を実施している。今後はふれあい広場にあった「みんなの家」を移築し交流人口の拡大に資する観光拠点として位置付けていく。観光協会へ指定管理の計画している。

繰り出し金

福永議員 一般会計から単費として特別会計に繰り出しているお金は何があるか。

坂本課長 一般会計のほかに特別会計、水道事業を含めて7会計ある。緑の村特別会計に約1,000万円、情報特別会計に800万円、下水道特別会計に2億4,500万円。2億4,500万円のうち、交付税として約1億円措置される。

消防費

防災無線と危機管理

田上忍議員 戸別受信機設置の手数料だが何台設置され残りは何件だったか。

藤野課長 申請件数174件に対し154件設置ができた。残りは20件だ。

福永議員 戸別受信機は町で何台保有しているか。

藤野課長 戸別受信機は1,300台保有をして約600台が各家庭に設置された。

福永議員 電話確認の件数とメール登録者は何人か。

藤野課長 令和元年度は326件、今年度は半年で973件の電話問い合わせがあった。メール登録者数は308件だ。

備蓄品の整備は

井藤議員 備蓄品は令和元年度に何をどれだけ整備されたか。

藤野課長 飲料水を500ミリリットルの1箱24本入りを84箱購入した。

消防団員の作業服

福本議員 消防団員の作業服



防災備蓄センター内の様子

を購入しているが機能別消防団にも補充したのか。

藤野課長 今回は消防団員のみだ。

福本議員 機能別消防団員の活動服はどうするのか。

藤野課長 現在の消防団員が使っていた活動服で利用できる活動服もあるのでそれを支給できればと考えている。

教育費

防犯灯について

福本議員 1,800万円ほどの工事費があるが器具設置数は幾つか。防犯灯の所有者はどこか。支柱から電球の交換まで地元がするのか。

西本学校教育課長 防犯灯の設置個数は49個。防犯灯は町所有で、維持管理は茶屋本区と日向区にお願いしている。支柱から電球の交換も区にお願いしてある。

全国大会等出場助成金の交付先は

田上英司議員 どういうスポーツが全国大会等に出場したか、何件あったか。

沖社会教育課長 件数は20件ほど、全国大会出場助成金の競技種目はゲートボール、サッカー、テニス、水球、ソフトボール、柔道、水泳、少林寺拳法。

英語教育について

宮川議員 これまで町が取り組んできた英語教育で、子供たちのどのような変化があったか。

西本課長 自分が話す言葉がネイティブスピーカーにきちんと伝わる。また、英語圏で生活された方の英語を聞きとること

ができるということが、児童生徒の自信につながっている。

宮川議員 英語教育に関する人員は足りているのか。

西本課長 県費で英語専科の職員が1人御船町には加配されている。町雇用のALTや英語指導員を充実させたい。

放課後子ども教室について

宮川議員 木倉小、御船小、御船中で事業実績があるが、ほかの学校はどうか。

沖課長 放課後子ども教室は、指導者の確保が課題であり、現状は広がっていない。今後、他の学校にも広がるような形で事業を進めたい。

学校給食の地産地消

宮川議員 地産の割合はいくらか。

西本課長 全体の割合は把握していない。白米はすべて御船産ヒノヒカリ。熊本県産までを地産ととらえている。郷土料理の提供もしている。

ICT教育

増田議員 ICTの支援員の効果は。金額的にも少ないのではないか。

西本課長 ICT支援は、業者委託をしている。各学校週2日ぐらいで動かれている。

学校のエアコン

田上忍議員 特別教室等まだ整備されていないところはあるか。

西本課長 特別教室も含めて整備をしている。古いエアコンは今後は修繕または買い替えということになる。

田上忍議員 新しいエアコンが長期的に見れば電気代等安

くなるのではないか。

西本課長 財政とも相談した上で検討していく。

学校の需用費が減少

福永議員 消費税が上がっているにもかかわらず、小学校、中学校費ともに需用費が減少している。教育現場で実際に使う重要な費用だが、減少の主な理由は何か。委託費や備品費等のしわ寄せではないか。

西本課長 需用費減少の理由を一概にいうことはできないが、委託費や備品費は部分的に削減することが難しいので、必然的に需用費の削減で調整をしているところはあると思う。

福永議員 教育の現場で使う需用費にしわ寄せが来ないよう予算立てをするべきではないか。

坂本課長 町の将来を担う子どもたちに関する予算は付けていきたい。

支援員の増員は

井藤議員 支援員等の増員が必要ではないのか。

西本課長 現時点で増員の計画はないが、予算編成の時期に財政と相談をしながら検討していく。

田中憲一先生の作品

井藤議員 田中憲一先生の作品は今後どうしていくのか。先日もテレビの80分番組で大々的に取り上げられた。注目度もあるので、町の文化面の向上に役立てていくべきではないか。

沖課長 昨年度、田中憲一先生の公開修復展に助成金として50万円を支出したが、現在、作品については、県の復興基金と民間財団の補助により修復

が進められている。田中先生のみならず、御船町には世界的に著名な浜田先生、井手先生の作品もあるので、今後見せる場の提供について関係者と協議を進める。

図書費が減少

井藤議員 図書の購入費が64万円となっている。過去10年間と比較してもワースト2位の金額となっているが何か特別な理由があるのか。

沖課長 御船町の図書館は書棚も限られ、蔵書の入れ替えの関係で昨年度は購入が少なかった。令和2年度は、予算を増やして対応したい。限られた図書費の中で利用者のリクエストを聞きながら図書充実に努めていく。

井藤議員 小さい図書館でも、読み聞かせのイベント等、いろんな企画を行い、もっと魅力を高めていくべきではないか。

本田教育長 文化発信の場所である図書館を長期的な展望にたち、もう少し広い図書館、町民がもっと親しめる図書館の必要性をじっくり検討していく。

体育館屋根のシート張りは適切か

井藤議員 田代東部小体育館の屋根シート張り工事の効果はあったのか。

沖課長 一定の効果はあったが、完全に雨漏りを防ぐことはできていない。令和元年度の約131万円以外に、平成27年度も94万円ほどかけてシート張りを行っている。雨漏り対策はとても大切なので、今後も進めていく。

井藤議員 田代東部小体育館は避難所になっていたと思うが、一度本格的な工事をしたほうが長期的に見ればコスト面でもよいのではないか。

沖課長 修理については、今後も予算の要求を続けていきたい。

坂本課長 補助事業に該当するなど、経済比較で有利であればそちらで対応したい。

恐竜博物館の原材料費と特別展

森田議員 原材料費は特別展のグッズ販売仕入れか、館内ショップの仕入れか。

沖課長 館内のミュージアムショップの分である。

森田議員 特別展実行委員会の実績が1,500万円、歳入側には1,000万円となっている説明を求める

沖課長 1,500万円の内訳は夏の特別展に1,000万円、残りの500万は、春の特別展に支出をしている。春の特別展が延長になり、今年度までくい込んだ。

森田議員 今年やった分の500万円について決算書には載るのか。

沖課長 令和2年度の決算書に記載される。

実質収支に関する調書

決算が予算編成時より好転した理由は

中城議員 予算編成時のシミュレーションでは、3億8,200万円の赤字となっていたが、どのような取り組みで黒字となったのか。

坂本課長 歳出の削減は難しく、歳入に力を入れた。ふるさと納税で7億円近く歳入を上げ、実質収支の黒字となった。

適切な予算執行はできたか

中城議員 効率的な予算の執行はできたのか。

坂本課長 元年度の決算に関しては、執行は十分できたと考える。

財産に関する調書

町が保有する有価証券及び出資金・出捐金

福永議員 町は有価証券16万円を保有しているが、内容の説明を。

また、出資金も説明を。

上村会計管理者 有価証券



全壊のアトリエから救出された作品

16万円は、熊延鉄道時代からの熊本バスの株券だ。昭和26年に5万円、昭和36年に5万円、昭和45年に6万円の計16万円。剰余金が出ていないので、配当はない。

出資金は、各市町村への負担割合等で、緑川森林組合や熊本県農業公社など、計8団体だ。剰余金が出ていなかったり、営利団体ではないため配当金はない。

出捐金は、公益財団法人等への出資で、各市町村への負担割合等で熊本県信用保証協会等、約10団体に出資をしている。

しゅつえんきん

出捐金とは

公会計上は「出資による権利」に該当するとされていますが、通常の出資と異なり、議決権等の権利が認められない寄付金に近い性格のものです。

認定第2号 令和元年度御船町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について

少子高齢化の影響

福本議員 国民健康保険税の収入が減った要因は何か。

宮崎町民保険課長 社会保険の適用拡大や75歳からの後期高齢者への移行により国民健康保険の被保険者数が年々減少傾向にあること。

福本議員 出産育児一時金が減少した理由は何か。

宮崎課長 被保険者の減少と少子化の影響で一時金の対象者が減ったこと。

田上英司議員 一般被保険者後期高齢者等支援金等分は将来的に増えていくか。

宮崎課長 高齢化が進んでいくので高齢者支援の金額も増えていくと想定している。

認定第3号 令和元年度御船町介護保険事業特別会計歳入最終決算について

介護サービスの内容

中城議員 介護サービス給付費負担金で高額な支出があるがどのような内容か。

西橋課長 居宅系、施設入所系、住居系のサービスがある。居宅系は、訪問介護、デイサービスなど通って受けるサービス。施設入所系は、特別養護老人ホーム、老健施設などへの入所がこれに加わる。居住系は、グループホーム等の入所が該当する。

中城議員 支援サービス給付費はどのような内容か。

西橋課長 先ほどの介護給付費は要介護1から5までの人が受けられるが、支援サービス費は要支援1、2の人が受けられる。在宅で受けるサービスは支援の方でも介護の方でも同じようなサービスが受けられる。

認定第4号 令和元年度御船町緑の村運営事業特別会計歳入歳出決算について

指定管理を目指す

田上忍議員 新たにできた星の森ヴィラとその他施設があるが、それぞれの利用者数の説明を。

鶴野課長 星の森ヴィラと持ち込みテントの影響で使用料はかなり伸びている。実績は星の森ヴィラが483棟で前年度から151棟増え、持ち込みテントが667張りより前年度より413張り増えた。施設や環境の整備を行った結果である。

田上忍議員 緑の村の今後をどのように考えているか。

藤木町長 吉無田高原は町の大事な観光施設の1つ。九州の中心に位置し、九州のキャンプの中心地として交通網の整備が整っているの、今後町の観光の目玉の1つとなり得る。広報活動に力を入れていきたい。

田上忍議員 指定管理に向けてはどう考えているか。

藤木町長 公のできる部分、民のできる部分、そして民・官が



物販スペースのある星の森ヴィラセンターハウス

一緒になって行う部分がある。まずは、民の力をもっと借りたいので指定管理に向けて進めていきたい。

非常時の備えは

井藤議員 備品を揃えているが防災の面ではどうか。

鶴野課長 水や食料などの備蓄品の準備はない。毛布や寝具の準備は常時あり、星の森ヴィラセンターハウス内の物販スペースには、カップラーメンやキャンプに必要な道具、スナック菓子などが少量あるので1日程度ならば対応できる。避難が長期的にわたる場合に備えて、観光協会と災害協定を結んだ上でのスペース等の拡充や取扱商品の充実、また指定避難所として緑の村にもコンテナを設置するなど、総務課等と協議していく。

田上英司議員 AEDは何基あるか。

鶴野課長 センターハウスに1基ある。

認定第7号 令和元年度御船町情報通信基盤施設運営事業特別会計歳入歳出決算について

高額な引込工事費

福永議員 引込工事費の件数と、1件当たりの工事費はいくらか。

藤野課長 件数は283件。工事費は平均約11～13万円。

福永議員 町で工事を行うと割高になる。早急に民間への売却を図るべきではないか。

藤野課長 光ファイバー事業の民間移行に向けて、国のガイドラインに沿って準備を進めている。令和3年の早い時期に

委託事業者を決定するよう準備を進めている。状況は議会にも説明していく。

議案第30号 工事請負変更契約の締結について

御船 IC 周辺の工事進捗状況は

中城議員 他の工事も含めて工事の進捗状況はどうか。

野口課長 8月末時点での進捗は、国道の道路改良工事が80%ほどの進捗率、町道の改良工事関係が全体で約50%の進捗率。すべての工事が順調に進むよう、民間の造成工事や建築工事の関係者も含めて、月に2回の工程会議を行っている。

議案第31号 工事請負契約の締結について

四宮橋の架けかえ工事

田上忍議員 最終的に完成した橋には、川の中に橋脚があるか。

野口課長 川の中への橋脚は造らない設計内容だ。

田上忍議員 橋脚がないことで川の流れが急になり、下流の堰に対して影響はないか。

野口課長 詳しい計算はしていないが、橋脚がなくなったことで流速に影響はないだろう。

福永議員 落札率の説明を。

野口課長 89.16%だ。

議案第32号 工事請負契約の締結について

インター団地の路面復旧工事

福永議員 落札率の説明を。

野口課長 99.6%だ。

議案第33号 令和2年度御船町一般会計補正予算(第8号)について

体温検知カメラの追加購入

宮川議員 感染防止対策で体温検知カメラを購入予定だが取扱要領はあるか。

藤野課長 来庁者に発熱を検知した場合は入庁を控えるよう協力をお願いし、体調に不安があり相談を希望する人は保健センターに案内する。今後、要綱や要領を定めて適正に対応する必要がある。

田上忍議員 今回予定しているところ以外に必要なところはないか。

藤野課長 必要があれば、順次進めていく必要がある。

協力隊卒業生の起業を応援

宮川議員 地域おこし協力隊の起業補助金の説明を。

坂本課長 令和2年10月に任期満了を迎える隊員が御船町で事業を起こす。内容は町全体のグランドデザインを把握して情報の共有と全体の連携をサ



町内で起業する地域おこし協力隊員

ポートし町の振興に寄与する事業や、商業—観光—文化—教育の連携で子どもがあふれる御船町の実現を目指す事業。また、イベントやキャンペーンの企画・運営をサポートして新商品を開発し、会社や商品のPR企画、チラシの製作、印刷などを手掛ける事業もある。

電子入札、費用対効果は

福本議員 電子入札の導入における費用対効果をどう考えるか。

藤野課長 来年度の導入に向けて準備している。電子入札にすると入札の透明性、公平性が向上し、事務の効率化を図れる。また、応札者の利便性も向上する。現行1件当たり約1万8,155円のコストが5,200円程度になると計算している。

地区水道の改良

福本議員 馬立地区に約300万円の補助金が出ている。1件当たりの金額はいくらか。

緒方課長 地区水道に加入しているのは14世帯なので約20万円程度の負担である。

岩永議員 馬立地区水道のろ過設備の説明を。

緒方課長 馬立地区はろ過施設がなかった。今回、取水、ろ過などに係る幾つかの施設を設ける。

岩永議員 粒麦地区の地区水道ろ過の交換はどのような頻度で必要か。

緒方課長 雨が降れば月2回交換の可能性もある。

井藤議員 水質検査をする場所はどこか。

緒方課長 川内田、五ヶ瀬、馬立、粒麦、有水、間所の6カ所。

学校の設備故障への対応は

福本議員 小坂小体育館の自動火災警報機の修理は大至急する必要はないのか。

西本課長 今回の故障内容は、炎がないときも警報ベルが鳴るというもので、体育館の他の部分の警報機は正常に動いていることから、軽微な故障と判断し補正対応とした。

田上忍議員 七滝中央小学校と木倉小学校のディスプレイが故障しているとあるが、授業に支障を来さないのか。

西本課長 震動で線が入った。全く使えないわけではない。

井藤議員 建物や遊具の点検は毎年しているか。

西本課長 小中学校計7校を3校と4校に分けて1年置きに実施している。

山間部の通信状況は大丈夫か

井藤議員 山間部の家庭の通信状況は大丈夫なのか。

西本課長 自宅に持ち帰って通信できない場合は、学校に来てもらうことを想定している。

中城議員 国庫補助金の割合はどのくらいか。

西本課長 今回の国庫補助金は割合でなく定額。定額を引いた残りを臨時交付金または一般財源から支出する。

修学旅行はできるのか

井藤議員 修学旅行が中止となった場合に代替行事を考えているか。

西本課長 行き先を県内に変更してでもできる限り修学旅行

を実施するようお願いしている。

町道の維持修繕費

田上忍議員 町道の維持修繕費はどこか。

野口課長 釜出、高木、津ヶ峰、浅ノ藪、今城、三間伏、九十九線など町内全域の12カ所。道路の舗装修繕、白線工、道路側溝の修繕、マンホール等の段差解消等を予定している。

田上忍議員 町道粒麦線の修繕はどうなっているか。

野口課長 現地に行って道路状況を確認した。今回の補正予算をもとに、今年度中に悪い箇所を補修をしていく予定だ。

田上英司議員 豊秋の消防車が入れない部分の道路改良をお願いしていたが、今回の予算に入っているか。

野口課長 万ヶ瀬川原線の隅切り工事は、現行予算の中で対応する。工事着手前までに、必ず関係者には周知を図る。

恐竜博物館の無線LAN

井藤議員 恐竜博物館の公衆無線LANは一度に何台接続が可能か。

沖課長 アクセスポイントを増やすことで通信速度の問題を解消できる。博物館では8カ所のアクセスポイントを設けることで、週末の1日500人を超えるような来館者があっても通信速度を落とさないものと考えている。

遠隔の地域ケア会議も万全に

井藤議員 Web会議用カメラ内蔵USBスピーカーホンの説明を。

西橋課長 コロナ対策第2弾のWeb会議システム活用事業



の追加整備。複数の参加者が距離を取って会議参加を可能とするため、司会者がカメラ内蔵のスピーカーを通して会議を進行する。1台購入しているパソコンにUSBでつないで使う。

強風で損傷を受けた防災無線

井藤議員 防災行政無線の損傷について説明を。

藤野課長 屋外拡声子局のスピーカー部分のアンテナに強風であられた樹木が当たって損傷した。

財政調整基金の残高は

中城議員 財政調整基金の残高は幾らか。

坂本課長 8億9,348万円の残高だ。

お茶ペットでコロナ対策

岩永議員 コロナ対策でお茶ペットボトルとあるのはどのような事業か。

井上課長 説明会等で地域に出向く時に、ペットボトルのお茶を持っていく。消費が低迷しているお茶のPRも兼ねて行う。

町内の水を扱う事業体に委託をする。

トンネル照明故障原因を調査

岩永議員 北田代トンネル照明点検調査業務とあるが、交換しないのか。

井上課長 なぜ照明が切れるのか、まずは配線の状況を確認し、当初予算で交換する計画だ。

森林環境譲与税を活用して

岩永議員 森林整備事業補助金の対象となる小規模経営体はいくつあるか。

井上課長 全国的に災害、激甚災害等が多発しているということで、譲与額を当初予算よりも前倒しして増額すると閣議決定された。町内には7社の森林に携わる事業体があり、6社が小規模。今後の経営規模の拡大、雇用の確保で県の認定を受けるまでの事業体になってほしい。

監視カメラの機能向上

岩永議員 スポーツセンターの修繕費について説明を。

沖課長 スポーツセンターのカメラを画質や望遠の機能を高めつつ修繕も行う。

議案第35号 令和2年度御船町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

田上忍議員 地域密着型の特別養護老人ホームの補助金は2つあるが説明を。

西橋課長 第7期介護保険事業計画に基づく施設整備分の補助金である。歳出は事業所から町への補助金申請が行われ決定し支払われるもの。歳入に関しては県から町への補助金決定し支払いがなされるもの。施設整備分と備品及び職員の研修費等に充てられるものの2つがある。

田上忍議員 災害時の避難所にも使えるのか。

西橋課長 施設との協議が必要である。

井藤議員 特別会計精算返納金とは何か。返納金が発生する理由は実績額が低かったのか。

西橋課長 介護医療費への移行が見込みより少なかった。

井藤議員 介護予防事業の成果が出ているのか。

西橋課長 重症化を防いだこともあるが、要介護1以上の方の利用数が少なかった。



原因不明の点灯不良がある北田代トンネル

Q 少子・高齢化による自主財源の確保対策は

A 新たなにぎわいの創出を目指し、確保を図っていく



福本 悟 議員

自主財源の現状は

藤木町長 活用自由度が高い自主財源の柱である町税、熊本地震により一時減少し現在は地震前の水準を上回る。

今までの取り組みは

坂本企画財政課長 第一に、企業誘致の推進によりコストコホールセールジャパン(株)の令和3年春のオープンが決定。第二に、移住定住の促進で空き家バンクを設置等。第三に、

ふるさと納税の推進により寄附額が増加。

自動販売機設置者の募集、一般競争入札の導入は

藤野総務課長 公募型設置者の募集を検討。

財政計画の策定状況は

坂本課長 10年先の町の財政状況を見据えた中期財政計画を毎年更新。

有効な取り組みは

畑野税務課長 令和元年度決算で自主財源の約38%を占める町税の確保が、重要な位置づけ。

自主財源、今後の取り組みは

藤木町長 新たなにぎわいの創出を目指し、企業誘致、移住定住対策及びふるさと納税を推進し確保を図っていく。又、情報発信を行い町のPRにつなげていく。

Q 公園及び調整池の適正な管理の在り方は

A 共助・公助で役割を担い、生活環境を整えていく

公有財産の維持管理は

藤木町長 町公共施設等総合管理計画において公共建築物及びインフラ資産の基本方針を策定、長寿命化計画において行う。

行政・普通財産とは

藤野総務課長 行政財産は、庁舎など行政目的で所有する公用又は公共用に供する財産。普通財産は、行政財産以外の財産。

財産は、誰が管理する

藤野課長 行政財産は各所管課、普通財産は総務課で管理。

なみきが丘地内にある調整池は、誰が管理する

野口建設課長 都市計画法に基づく開発同意協議のなかで、

地域住民による管理となっている。

なみきが丘地内にある公園は、誰が管理する

鶴野商工観光課長 団地内で自治会を結成し管理となっている。しかし、自治会等の結成はなく、地域の清掃活動時

等に除草等の作業を実施。

調整池及び公園、今後の管理は

藤木町長 なみきが丘には自治会組織がない。関係する区長への相談、協議を行い課題解決に取り組む。



なみきが丘にある調整池の様子



Q竹バイオマス関連裁判がすべて終了したが、町は!

A町民の信頼回復に努めていく

福永 啓 議員

福永議員 住民運動は、補助金が支出されたにもかかわらず政府系金融機関ですら融資を断り、事業資金を調達できず、行き詰っていた竹バイオマス事業に対し元町長が、「ある財団法人から13億円もの融資を受け、町も出資し第三セクターになる。」と表明した後だ。そもそもこのような融資話は存在したのか。また、この融資話を町として確認したのか。

坂本課長 融資話を証明する書類は町に存在しない。また、元町長から指示がなかったので、町として融資の確認はできなかった。その後、議員からの指摘もあり、財団の謄本を取り寄せ、元町長発言の財団の住所、代表者名が異なっていることなどを把握した。

福永議員 第三セクター化を止めなければ3億円どころではなく、町の存亡にかかわるような被害が生じるかもしれない…そのような深刻な危機感から住民運動は始まった。住民監査請求等、多大な労力と金銭的負担を強いられるが、町の将来のためにも町民の方々は、苦渋の選択をせざる得なかった。

補助金が支払われた経緯だが、まず、平成21年2月、事業会社に2億円が支払われ、その6日後に政府系金融機関から融資を断られている。せめて



住民訴訟「勝訴」の旗を掲げる原告団

金融機関の判断を待っていれば、そもそも2億円の支出すら行わずに済んだのではないか。この支出には適切なのか。

坂本課長 判決では「違法とまでは言えない…」と判断しているが、結果として、2億円もの町の大切な貯金が消えた事実は揺るがないもので、この事実を謙虚に受け止め、真摯に反省したうえで、なぜこのような自体に陥ったのか、二度とこのようなことが起きないためにはどうしたらよいのかを考えなければならぬ。

福永議員 融資が断られた後、事業会社と御船町が竹バイオマス事業の今後について協議した記録があるが、それを読んでもどのように感じたか。

坂本課長 当時の担当係長が状況をよく理解し問題提起していると感じた。

福永議員 一方で元町長は事

業に前のめりだ。その後、事業資金が調達されないまま、元町長は補助金約1億円を支払っているこれは適切か。

坂本課長 融資が実行される可能性及び事業遂行の可能性も極めて低いもので、そのような状態の事業会社に補助金を払うべきではなかったと裁判所は判断している。

福永議員 そして、冒頭の第三セクター問題に移る。もし、町民のだれもが無関心でなにも行動も起こさなかったら事業会社は第三セクター化されていたかもしれない。町長はこの問題をどう考えるか。

藤木町長 竹バイオマス事業を問題視し、町民目線で厳正に対処することを公約に掲げ町長選挙を戦い町民からの負託を受けた。これからも初心を忘れず、町民目線で、町民の声に耳を傾け、寄り添いながら行政運営の舵をとっていく。

Q 小中学校の校舎が老朽化している。校舎の建て替えの財源はあるのか

A 公共施設の建替え等には別枠で基金の積立も行っている

岩永 宏介 議員



現在の財政状況

岩永議員 町の一般会計歳入・歳出規模は？

坂本企画財政課長 熊本地震で予算規模が増大、その前には平成25年度の国の緊急経済対策事業による恐竜博物館、街なかギャラリー、観光交流センター、ふれあい広場の整備等による維持管理費、公債費の増加から財政規模は拡大していた。H25年度に借り入れた地方債の償還が平成29年度から始まったため、平成29年度は熊本地震に伴う災害復旧事業費に、公債費等の償還額もプラスされ、財政規模が拡大した。(下記表参照)

岩永議員 町の実質公債費比率が年々高くなっている。(平成29年度6.0%、30年度6.9%、令和元年度8.2%) 原因は？

坂本課長 熊本地震に係る地方債の償還が令和元年度から本格的に始まったから。令和7年頃に公債費がピークを迎える。

岩永議員 町の経常収支比率が94.7%(平成30年度)と高い。どのような状態か。

坂本課長 家庭で例えると、収入を食費、光熱水費や税金の支払いなど必要不可欠な経費でほぼ使い切ってしまうとい

る状態だ。行政に置き換えると、地方債の借入がどうしても必要となる。

今後の行財政運営

岩永議員 人口数、産業構造が似た芦北町に比べ、本町の地方税収入は少ない。なぜか？

坂本課長 固定資産税の違いだ。芦北町は漁業における船舶に係る償却資産や半導体や太陽電池製造工場の償却資産が大きく占めている。

岩永議員 固定資産税の増収を図るためには？

坂本課長 企業誘致や移住定住を推進することだ。

岩永議員 ふるさと納税に係る寄付金額の推移は？

坂本課長 平成27年度150万円、28年度5,311万円、29年度1億1,292万円、30年度2億4,898万円、令和元年度6億6,866万円である。

岩永議員 どのような対策を講じてきたのか。

坂本課長 平成29年度に目標額を1億円とし、新たに10月から「楽天ふるさと納税」上での受付を開始。30年度は返礼品を増やし、新規商品の掲載やパンフレットを作成、期間限定の広告を行った。令和元年度は、国の法改正により、返礼

品について調達価格は寄付額の30%以内、地場産品に限定されたこと、募集経費は、返礼品価格を含め寄付額の50%以内と明確に示されたため、新たな工夫として、「さとふる」、「ふるなび」、「キュー10」を活用したふるさと納税サイトでの受け入れを開始し、露出を高めた。また、返礼品の定期便を加え、高額な寄付額を集める工夫を行った。結果的に本年9月の楽天ふるさと納税サイトでは御船町の返礼品の米がアクセス件数1位を獲得するまでになっている。

岩永議員 小中学校の校舎が老朽化している。校舎の建て替えの財源あるのか？

坂本課長 校舎の建て替えは、国庫補助金や地方債、不足する分は、財政調整基金やふるさと応援基金などだが、公共施設の建替え等には別枠で基金の積立も行っている。

岩永議員 別枠の基金の名称と基金残高は？

坂本課長 平成29年度に公共施設の建替えのため、「御船町公共施設建設積立基金条例」を制定して令和元年末の残高は6千万円だ。今後、この基金への積立も計画的に行っていく。

■過去9年間の御船町歳入歳出決算額

(単位：千円)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
歳入	7,204,454	7,058,358	9,434,054	7,391,603	7,303,993	15,464,634	18,331,362	15,425,789	14,997,080
歳出	6,833,433	6,766,654	9,121,999	7,030,341	6,874,825	14,397,349	17,180,674	14,727,117	14,346,156



Q 地域防災計画は機能しているか

A 実績を上げている

増田 安至 議員

増田議員 町の危機管理体制はどうか。

藤木町長 本町は災害に強いまちづくりを目指し、防災・減災、復興を行うための体制を規定している。

新型コロナウイルスのような感染症への対応も、地域防災計画において防疫やまん延防止を行い各団体とも調整を行っている。

増田議員 災害発生時の町の対応計画はどうか。

藤野総務課長 御船町地域防災計画に基づき平成31年3月に御船町大規模災害時受援計画を策定した。

御船町業務継続計画（BCP）で災害時の業務優先順位を定め、全職員や地域住民で防災訓練を行った。

増田議員 7月の豪雨の時に、避難所に住民誘導に時間がかかったと聞いている。

作田健康づくり支援課長 災害時の限られた人員で効率を上げ有事の時の対策に備える。

増田議員 医療機関との連携は。

作田課長 コロナ対策支援事業で11医療機関と7歯医医院で意見交換した。

藤野課長 医療関係以外で18件の災害時協定を締結した。

西橋福祉課長 福祉避難所は介護施設6カ所と締結し、今年度中に障害者施設とも締結する予定。

増田議員 町のICTを使った環境整備はどうか。

藤野課長 国の強靱かつ自立的な地域の構築に向けた三原則であり、ICTデジタル技術の積極的な取組を行っていく予定。

増田議員 コロナ禍における飲食業、市民団体との連携、公共交通機関、教育行政の連携はどうか。

藤野課長 人が集まる施設においてかなりのダメージを受けている。民間企業と行政のパイプ役として社会的事業主体の育成を図る。

増田議員 マスタープラン改定はどうか。

藤木町長 令和2年3月に御船町都市計画マスタープランを改定した。

急速な人口減少や少子高齢化、インフラの老朽化など、本町を取り巻く社会情勢は大きく変化した。

将来の都市構造や土地利用及び市街地整備の方針を定め、都市計画区域内における秩序ある都市づくりを目指し、町民・団体・企業等と協力しながらその実現に向け努力する。

増田議員 町の上下水道の計画はどうか。

緒方環境保全課長 計画は水道認可区域内の整備はほぼ完了した。

水道施設更新に毎年約8,000万円かかっており、下水道の未普及区域の整備に5億円以上を見込んでいます。

今後も計画的に整備に努める。



Q電子入札の開始予定は

A令和3年4月の予定

藤川 博和 議員



施工管理体制について

藤川議員 落札された物件を各所管では、どのような施工体制で管理しているか？説明を。

藤野総務課長 契約締結後、工事発注の所管課において監督員を任命し、受注者に通知している。

具体的には、監督員において着工時に提出された施工計画書・施工体制台帳等の書類確認や現場での立合い、確認・検査など行い工事の施工管理を行っている。

藤川議員 事務管理は職員でできると思うが、現場の施工管理は専門の知識が必要であり、総務課・復興課・学校教育課の担当監督職員では監理できないのではないのか？

どのような対策を取っているのか？

藤野課長 管理業務については担当職員が行う為、業務ごとに基本は監督員1人で行うが、現場の監理は一般土木工事や上下水道工事の施工管理については、担当職員（技師）で対応している。

また、建築工事については建築士の資格を有する工事管理者を定める事となっており、監理支援業務委託等により対応している。

電子入札・入札制度について

藤川議員 電子入札導入はどのようにしているのか？

藤木町長 9月の補正予算に、

公告情報

公告内容全文は、会員専用サイト「**テNDERネット**」(<http://www.njc-bees.co.jp>)に掲載

【日本年金機構本部】 10月13日開札（締切日2020/9/29）【一般競争】
▼プリンタ更改に伴う電気設備工事（熊本西年金事務所）（熊本市中央区千葉成町2-37）
①概要＝電気設備（工期＝2020/12/25）
②申込資格＝厚生労働省（九州・沖縄ブロック）の電気工事C・D等級、施工実績も必要

【福岡高等裁判所】 11月6日開札（締切日2020/9/30）【一般競争】
▼鹿児島県庁舎第2期改修実施設計業務（鹿児島市荒尾1588）
①概要＝建築設計業務及び見積り業務（工期＝2021/3/31）
②申込資格＝裁判所の建築関係建設コンサルタント業務の認定者で、一級建築士事務所の登録を行っていること

【熊本県土木部】 10月9日開札（締切日2020/9/29）【条件付一般競争】
▼熊本工業高校実習棟（第二期）改築工事（熊本市中央区上京塚町5番1号）（再公告）
予定価格674,470,000円税抜
①概要＝実習棟（繊維工業化学科・機械科）改築（RC造2階建延べ3,552㎡）、覆り底下増築（S造2階建延べ81㎡）、カーポート増築（アルミ造平屋延18㎡）、その他（外構）（工期＝2022/1/26）
②申込資格＝熊本県の建築一式工事A1等級による2者J.V.、代表構成員は施工実績も必要

【熊本県警察本部】 10月2日開札（締切日2020/10/1）【条件付一般競争（事後審査型）】
▼熊本市中心区迎町交差点外周防犯半感応化等工事（熊本市中央区迎町交差点外）
予定価格26,581,000円税抜
①概要＝防犯半感応化2カ所、プログラム多段化2カ所、車両感知器撤去等2カ所、視界整備1カ所、多環示化1カ所、信号機新設2カ所（工期＝2021/1/29）
②申込資格＝熊本県の電気工事A等級、施工実績も必要

▼熊本市中心区熊本城・市役所前電停南交差点外灯器改良等工事（熊本市中央区熊本城・市役所前電停南交差点外） 予定価格24,165,000円税抜
①概要＝灯器改良（LED）4カ所、同（経過時間）1カ所、アーム塗装1カ所、防犯半感応化1カ所、信号機移設2カ所、集中制御機更新1カ所、灯器増設2カ所、信号機戻移設1カ所、信号機移設2カ所、自歩板取付用標識撤去1カ所、標識タン化1カ所、筒子箱更新1カ所、プログラム多段化1カ所（工期＝2021/1/15）
②申込資格＝熊本県の電気工事A等級、施工実績も必要

工事情報を伝える「西日本建設新聞」

システム開発や改修の委託料及び協議会への負担金を計上している。

予定は10月に、県へ電子入札参加の申請を行い、その後電子入札システムの契約や業者向け説明会の開催、また電子入札システムの運用規定や関連する規定を整備し、令和3年4月の本格運用開始を目指す。

藤川議員 入札制度において、指名競争入札・一般競争入札・条件付一般競争入札・条件付き一般競争入札(事後審査型)の内容説明を。

藤野課長

(1) 指名競争入札

→特定多数の競争参加者を選んで行う入札の方法

(2) 一般競争入札

→公告によって不特定多数の

者を誘引し、入札によって申込させる方法

(3) 条件付一般競争入札

→入札参加資格者名簿に登載され、入札参加に係る資格要件を公告し、当該資格要件を満たすものが自由に入札に参加できる方法

(4) 条件付一般競争入札

(事後審査型)

→条件付入札の開札後に有効な入札のうち、入札価格の低い者から資格要件の審査を実施し、資格要件が適格である場合に落札決定する方法

藤木町長 入札にあたっては、『競争性、公平性、透明性』を確保していく事が重要であり今後も適正な競争の為の環境づくりに努めていく。



Q 児童・生徒の安全確保活動は

A 継続性のある活動組織の立ち上げに前向きに検討する

田上 英司 議員

田上議員 御船町の本年8月末までの全児童数・生徒数はどのくらいか。

西本学校教育課長 小学校児童数973人、中学校生徒数410人である。

田上議員 本町でも少子化が進行しているのか。

西本課長 20年前との比較でも小学校児童数141人、中学校生徒数244人が減少し少子化が進んでいる。

田上議員 子ども対象犯罪は、年ごとに凶悪化・多様化している。警察への情報開示請求で本町では過去3年間で12件の声掛け事案などが発生している。うち10件が小学生対象。幸いにも人的被害・事件等への発展はなかったが、保護者・学校・教育委員会・行政・警察との情報共有システムは構築されているのか。

西本課長 情報を得た学校は教育委員会へ報告、保護者には警察へ届け出の助言をし、学校どうしは安全メールで共有し、

教育委員会へは町の総務課へ連絡、また警察からも学校教育課に連絡がある。警察の交通指導係と生活安全係と一緒に通学路安全点検を行い、情報を共有している。

田上議員 情報を共有しないと犯罪に対する警戒活動はできない。警察は「氷山の一角」と言われた。行政が警察の指導を受け、見守り活動者が自信と熱意を持てるよう、まさに行政に裏打ちされた組織づくりが必要ではないか。

西本課長 学校と地域がともに手を携え、コミュニティスクールや地域学校共同活動を推進し、見守り活動を組織的に展開していく。

田上議員 子どもへの犯罪を発生させない環境づくりに行政が知恵とお金を出す考えはないか。

沖社会教育課長 PTA・青少年健全育成の取組みとして今年度、子ども110番の家のプレートを改めて作成し、110番の

家のお願いをする。

西本課長 現在の見守り活動は継続しつつ、さらに一緒に見守り活動をしてくださる方を増やしたいと考えている。

田上議員 本町内の学校周辺・公園・商店街等への公の防犯カメラの設置数は。

藤野総務課長 本町内で屋外で把握しているのは28ヶ所である。

田上議員 本町内の子ども110番の設置数は。

沖課長 今年度調査では108ヶ所である。

田上議員 本町には水越地区、木倉地区、町職員による防犯パトロール隊があるということだがまだ全域ではない。行政一体となった継続性ある見守り活動組織の立ち上げを真剣に、かつ前向きに検討されないか。

西本課長 継続性のある子ども見守り活動の組織の立ち上げに前向きに検討していく。

Q 建設業者に対する行政指導の徹底は

A 発注者として責任をはたす

田上議員 事前広報の手段・方法は。

野口課長 受注者は工事標示板を設置し、事前周知を行う。また周辺民家へ影響をきたす場合は個別に訪問し説明して工事への協力を頂く。

田上議員 工事の進捗・工期の問題が発生した場合、業者が自分の考えで工事を進めることはないか。

緒方課長 変更や問題・苦情が生じた場合、直ちに監督職員へ報告、協議することが原則で

あり、請負業者自身の考えで進めることはない。工事を安全かつ円滑に進めるうえで周辺住民への広報は必要であり、周知徹底を指導していく。

Q 数百年に一度の豪雨災害、地域防災計画の見直しは

A 防災体制を強化し、あらゆる災害に対し万全を期していきたい



森田 優二 議員

御船町防災マップの基準は最新か

藤野総務課長 国が平成29年に指定した最新のものだ。

森田議員 避難所の備蓄品は、整備できているか。

藤野課長 主な避難所10か所にコンテナ倉庫を配備し、備蓄している。

森田議員 毎年計画的な備蓄はできているのか。

藤野課長 計画数量はできていないが、毎年行っている。

森田議員 牛ヶ瀬地区の内水問題は、検討されたのか。

緒方環境保全課長 雨水対策検討業務で現地調査、浸水調査等を実施中、調査結果を基に検討したい。

コロナ禍での避難所の説明は十分か。

藤野課長 各種会合や広報、回覧などで周知している。台風10号で検証してみると、理解されていると思う。

森田議員 コロナ禍に対する危機管理体制の整備は。

藤野課長 新型コロナウイルスに対応する避難所運営マニュアルを策定し運用を行っている。

森田議員 学校給食センターで陽性者が発生した時は、学校給食はどうなるのか。

西本学校教育課長 全職員を自宅待機とし臨時休業となる。再開は、保健所の指導になる。各学校は家庭から弁当を持参。

3日以上の場合は、簡易給食を提供を予定している。

分団及び班の見直しの考えは

藤野課長 分団や班を統合すれば、少人数で広範囲を管轄することになる。統合は、慎重に検討する必要がある。

森田議員 3分団のように団員が0になれば大変なことになる。その前に行政指導で考えたほうがいいのではないか。

藤野課長 団員の意見を聞きながら検討していきたい。

森田議員 団員が少ない中、初期消火体制はどう考えているのか。

藤野課長 火災発生の地域の分団長を中心に団員を集め、団長の指揮の下、消火にあたる。団員が少ない場合は、他の分団に出動要請をかける。

森田議員 役場職員による初期消火体制はできないのか。

藤野課長 前向きに検討したい。

森田議員 団員報酬は、個人口座に振り込む話があるがいつからか。

藤野課長 3年度からできるよう準備を進めている。

森田議員 出動手当は、国の方針は1回あたり7千円とあるが、差が大きい。仕事を辞めて出動することから、前向きに検討でき

ないのか。

藤野課長 出動時の拘束時間の統計等を取り、実態に即した手当での支給を検討したい。

滝尾から小坂まで水防倉庫1カ所で十分か

野口建設課長 水防倉庫設置に向け見直しを行っていく。

森田議員 水防計画における消防団の位置づけは。

野口課長 水防法第6条に規定する水防団として位置づけている。

水害時の団員の装備は

野口課長 水防計画ではライフジャケットの着用になっている。検討したい。

森田議員 団員の安全を考え、早急な整備が必要ではないか。

野口課長 全員は無理だが、段階的に準備したい。

森田議員 最後に、住宅開発や企業誘致が進む中、大きな課題は内水問題だと思う。災害に強い町づくりを目指して町政に頑張っていたいただきたい。



救助資機材搭載型小型動力ポンプ積載車

かがやく



御船町に戻り

私は、御船町で生まれ育ちました。

御船高校を卒業した後、自衛官や会社員として働いた約8年間、御船町を離れておりましたが、その頃から実家へ帰省するたびに発展していく御船町を見てとても驚いていました。

最近では、高速道路の小池高山インターや上野吉無田インターが開通したことに続き、御船インターの隣には大型スーパーのコストコができるようになりました。このように、御船町が益々発展していることを大変うれしく思います。

現在、私は結婚を機に御船町へ

戻り、父を師として大工の修行に励んでおります。知識と技術を身につけ、一人前の職人として仕事

ができるように頑張っております。私生活においても、今年7月に長男が生まれ、益々仕事に意欲が出てきたところです。

全国的には、新型コロナウイルス感染症や様々な自然災害などの暗いニュースが続いておりますが、御船町から明るいニュースが多く発信できるように、一町民として少しでも協力できればと思います、これから地元で頑張っていければと思っております。



茶屋の本
田中 裕大さん

議会の予定 11月

- 12日(木) 県町村議長会広報委員会 研修
 - 17日(火) 県町村議長会常任・議運正副委員長研修
 - 18日(水) 議会運営委員会(予定)
 - 20日(金) 全員協議会(予定)
 - 30日(月) 本会議(予定)
- 議会運営委員会(予定)



▶キンモクセイ(御船地区)

編集後記

9月は令和元年度の決算議会でした。御船町では3月に次年度の「当初予算」を審議し、その年度がスタートしてからも、必要に応じて「補正予算」が毎月の議会に上程され、当初予算が補正されていきます。その度に町の説明を受け、議会で審議、採決をするのですが、「決算書」はそのような補正を重ねた予算の決定版のようなものです。自分たちが議決してきた予算を、決算書を通すと全体的に見ることができ、改めてふり返ることができます。私たち

は町の大切なお金をどうしたら、最も有効に活用できるのを見極めなければいけません。御船町のより良い未来を作り出すために、みんなで力を合わせて、より良い今を追求していきましょう！

井藤はづき

議会広報編集特別委員会

- 発行責任者 | 池田 浩二
- 委員長 | 井藤はづき
- 副委員長 | 田上 忍
- 委員 | 藤川 博和
- 委員 | 福永 啓
- 委員 | 森田 優二
- 委員 | 田上 英司